

7.15 水**深川大会****深川市陸上競技場**

日立女子陸上競技部事務局



ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2026第4戦・深川大会が開催され、2名の選手が出場しました。大会当日は台風後の熱帯低気圧の影響により蒸し暑さが厳しく、記録を狙うには非常に難しいコンディションとなりました。

5000mに出場した鈴木樺連選手は、前レースの雪辱を期してレースに臨みましたが、暑さの影響を受けて後半は苦しい展開となり、我慢の走りとなりました。この悔しさを秋以降のレースで晴らすため、この夏の鍛錬期は強い気持ちを持って強化に取り組んでいきます。

10000mに出場した鈴木千晴選手は、レース前の体調不良も重なり厳しいレースとなりました。そのような中、大会を観戦されていた日本陸連会長の有森裕子さんから、「今を頑張れば、これからも頑張れるよ!」とレース中を通して温かい声援をいただきました。暑さにより途中棄権する選手も複数いる中、最後まで諦めることなく走り切った今回の経験は、今後につながる大きな財産となりました。この経験と想いを、今後の走りに必ず生かしていきます。

鈴木 樺連

女子5000m**25位 / 33名****16分39秒94**

ホクレン千歳大会に続き、たくさんの応援をありがとうございました。かなり蒸し暑い中でのレースとなり、タイムを狙っていくというよりも、いかに耐えられるかということを考えて走りました。

2戦とも目標に届かずとても悔しいです。

春先から順調に進んでいましたが、ここに来て大きく崩れてしまっているの、この後の夏合宿で崩れない体をつくり、秋に向けて準備していきたいと思います。



鈴木 千晴

女子10000m**5位 / 5名****35分40秒58**

過酷なコンディションでのレースとなりましたが、その中でも厳しい結果となりました。

うまくいかない時でも「今を頑張らなければ、これからも頑張れない」と気づかせてもらえたレースでもありました。

もがき苦しむ日々が続いていますが、腐らずにプロセスを信じ、精いっぱい取り組んでいきたいと思います。

応援ありがとうございました。

応援ありがとうございました!

